


令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：天草市立牛深東小学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>これまで継続している環境ISO宣言を今年度も引き継ぎ、校内に掲示して意識付けを行った。</p> <p>また、給食委員会による残滓を減らす取組、環境委員会による無言掃除やごみの分別を呼びかける放送、毎週行うごみ回収の取組等を通して、環境を意識した学校生活を送ることができるようにした。</p>
行動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">環境ISO行動項目</div>     	<p>学校生活においては、具体的な行動項目を設定し、委員会活動での取組の学級化を図った。</p> <p>（児童の活動）</p> <p>【ごみを減らします】</p> <p>各教室に「燃やすごみ」「資源ごみ」の2種類の回収ボックスを設置し、ごみの分別を行った。資源ごみの回収ボックスは年度初めに環境委員会で作成した。プリントや大きな紙切れは資源ごみに分別して処理するように声かけを行った。</p> <p>【水を大切に使います】</p> <p>歯磨き時には、コップ一杯の水を使うようにし、掃除では、バケツ半分の水を目安にすることで水の無駄使いを抑えるようにした。環境委員会の取組として、校内のバケツの内側にビニールテープを貼り、半分の位置が視覚的に分かりやすいようにした。</p> <p>【環境を整えます】</p> <p>環境委員会を中心に、学校周辺の落ち葉拾い清掃活動を行い、全体で42.5kg集めた。また、拾った落ち葉は腐葉土を作り、花や野菜作りに活用する予定である。縦割り班で掃除をすることで無言掃除の徹底を行い、みんなで協力して学校をきれいにしていこうという意識が高まった。</p> <p>（職員の実践）</p> <p>【紙の節約・紙の資源化】</p> <p>使用済みの紙は、裏紙利用を心がけ、職員への配付資料は裏紙印刷を活用した。両面印刷済みの紙は、資源ごみとして処理した。各教室に紙ごみボックスを設置し、可燃ごみの減量を心がけたり、会議資料のペーパーレスにも取り組んだりした。</p>

		<p>(一人一鉢栽培活動)</p> <p>一人一鉢の花を育てる活動を通して、環境に対する感性を育むとともに、全校児童が一斉に取り組むことで、みんなで協力して環境を大切にする心を高めるようにした。</p> <p>(保護者・地域と連携した活動)</p> <p>P T A主催の美化作業では、多くの方に参加していただき、P T Aの主体的な取組として高い意識をもって行うことができた。P T A環境整備委員会の活動として、ベルマーク収集、空き缶回収、ペットボトルキャップ収集に取り組み、一定の成果を上げている。</p> <p>また、地域連携として、一人一鉢栽培活動や、各学年の野菜栽培活動の中で地域人材の活用を積極的に行った。多くの方に協力していただき、学校、地域が一体となって活動ができた。</p>
記録	<p>R4とR5の水道使用量の比較</p>  <p>■水道使用量(R5) ■水道使用量(R4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道使用量は前年度比でみると、少ない時で約 72%となるなど削減となる月があった。 ・電気使用量は前年度比で少ない時で、約 88%となるなど、削減となる月があった。 ・水資源を大切にするという意識は児童の活動等で高まってきた。
見直し	<p>R4とR5の電気使用量の比較</p>  <p>■電気使用量(R5) ■電気使用量(R4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会で、学校版環境 I S O 宣言と月別目標の見直しを検討する。 ・児童活動を通して、資源を大切にするという意識は児童の中で高まっているようなので、今後も水、電気の無駄遣いを抑える持続的な取り組みを進めていく。

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・「水道の水の出し方は、鉛筆の細さで」「コップ一杯」「バケツ半分」などの具体的に分かりやすい声かけを使うことで、日常的に資源を大切にする心情を高めることができた。実際に水道利用量の削減となった。 ・環境委員会や高学年を中心に縦割り班掃除や落ち葉拾いなどの清掃活動に積極的に取り組む姿がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、主体的に節電、節水を意識するための働きかけをさらに工夫し、学校全体での取り組みが必要である。 ・年間計画の見直しや、持続可能な実践の方法について、職員全体の共通理解、共通実践を図る必要がある。